

# 緑光

RYOKKOU

No.72 2018年3月



いすゞ自動車株式会社藤沢工場  
いすゞライネックス株式会社藤沢事業所

# M<sup>ごあいさつ</sup>essage

藤沢市企業等環境緑化推進協議会  
会長 高橋節夫  
株式会社神戸製鋼所藤沢事業所

日差しにもようやく春の訪れを感じる頃となりました。  
協議会会員の皆様には、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成29年度の活動では、皆様のご協力とご指導により完了することができましたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。

この1年間を振り返ると今年度も自然災害の恐ろしさを感じさせられました。特に九州北部豪雨では、甚大な被害と死者が出るまでの災害となってしまいました。「今までに経験したことのない・・・」という言葉が頻繁に使われるようになり、経験以上の考えも付かない事態が現実になってしまうことの怖さと不安を感じえません。また、全国各地で台風やゲリラ豪雨による被害が発生し、藤沢でも河川の氾濫を警戒しました。このような状況下で、良い情報としてご存じのとおり2020年には、夏季オリンピックが東京開催されるなか、江の島でセーリング競技が実施され、世界的なイベントが身近な藤沢で行われることは大変に喜ばしいことと受け止めています。建設が進められていた市役所本庁舎も完成し、2018年1月4日から供用されており市民のオアシス的な存在となるよう期待しています。

我々協議会も他の会の皆様と今以上に連携協力してきれいな街藤沢、緑いっぱいな街藤沢をめざして努力したいと考えます。また、永年親しまれました協議会名の工場等という部分を会員増加・緑化活動の拡大を図るべく企業等という表現に変更し、藤沢市企業等環境緑化推進協議会として最初の1年間を活動しました。

今後もより良い協議会とするため皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



## 第44回総会

General meeting



藤沢市企業等環境緑化推進協議会の第44回総会を平成29年4月13日(木)、湘南クリスタルホテルにて開催いたしました。当日は会長の挨拶のあと、来賓の鈴木恒夫藤沢市長、藤沢市みどりいっぱい市民の会杉下由輝会長からご祝辞をいただき、議事に入りました。平成28年度の事業報告・決算報告・監査報告の承認、平成29年度役員の変更・事業計画及び収支予算の承認及び協議会名称の変更が承認され、無事に審議を終えることができました。

総会終了後には懇親会を開催し、会社紹介や自己紹介に始まり、様々な情報交換を行なって和やかな時間を過ごしました。

(事務局 記)

## ●平成29年度事業報告

事業	内容	実施日・場所
総会	第44回総会	平成29年4/13(木) 湘南クリスタルホテル
役員会	全体役員会	平成30年1/25(木) 藤沢市役所本庁舎8階 8-3会議室 平成30年3/8(木) 藤沢市役所本庁舎4階 4-4会議室
ブロック会議	ブロックごとの座談会	平成29年12/14(木) 湘南NDビル6階6-1会議室
緑化技術講習会	玄関の前や敷地内を彩る草花の寄せ植え講座	平成29年8/31(木) 長久保公園都市緑化植物園
機関誌発行	「緑光」No.72号	平成30年3月末
視察見学会	バラ園を始めとした草花を見学	平成29年11/9(木) 神奈川県立緑と花のふれあいセンター花菜ガーデン
第36回藤沢市 緑と花いっぱい 推進の集い記念事業 グリーンキャンペーン	藤沢市みどりいっぱい市民の会・藤沢市・ 当協議会の共催による花苗の配布と みどり基金の募金活動	平成29年9/30(土) 藤沢駅北口ペDESTリアンデッキ 及びサンパレット
緑と花いっぱい 推進の集い	藤沢市みどりいっぱい市民の会・藤沢市・ 当協議会の共催による緑化推進大会 (第36回)	平成29年10/28(土) 藤沢市民会館大ホール
湘南グリーン コネクション2017 (※緑化技術講習会講義部門)	(公財)かながわトラスTomidori財団の 主催による湘南地区緑化推進講義	平成29年11/25(土) 伊勢原市立中央公民館展示ホール

## ●平成29年度 藤沢市企業等環境緑化推進協議会役員

平成29.4～平成30.3

役職	事業所名	ブロック	代表者	担当者	事業担当	
会長	(株)神戸製鋼所藤沢事業所	C	永田 学	高橋 節夫	かながわトラスト	
副会長	日本精工(株)藤沢工場	B	石川 進	平澤 建夫	ブロック	かながわトラスト
副会長	東京ラヂエーター製造(株)	A	林 隆司	山路 秀樹	集い	機関誌
会計監査	いすゞライネックス(株)藤沢事業所	A	三瀧 義弘	佐藤 博之	講習	機関誌
会計監査	N O K(株)藤沢事業場	B	長澤 晋治	伊勢田 茂	視察	集い
会計	ミネベアミツミ(株)藤沢工場	C	浅川 英男	長谷川拓夫	機関誌	集い
幹事	オイレス工業(株)藤沢事業場	A	飯田 昌弥	泉谷 忠幸	講習	機関誌
	いすゞ自動車(株)藤沢工場	A	安室 幸夫	近藤 光吉	視察	機関誌
	A K S 東日本(株)	A	重松 拓也	長谷川裕一	視察	ブロック
	プレス工業(株)藤沢工場	B	小川 敏宏	高井 美来	機関誌	講習
	ナショナル・ベンディング(株)湘南第一営業所	A	藤山雄一郎	高橋 博人	視察	ブロック
	シロキ工業(株)藤沢工場	A	平田 政彦	秋間 知幸	集い	講習
	(株)ヤクルト本社湘南化粧品工場	B	武藤 大介	大林 緑	集い	ブロック
	(株)荏原製作所藤沢事業所	B	白樫 充彦	大羽 宏	視察	ブロック
	アズビル(株)藤沢テクノセンター	C	宮崎 英樹	中野 隆行	視察	講習
	東レ(株)基礎研究センター	C	伊関 克彦	竹内 澄人	集い	ブロック
池上通信機(株)システムセンター	C	小島 睦	小野寺純一	機関誌	講習	

事務局	藤沢市役所みどり保全課
-----	-------------

集い…………… 推進の集い

視察…………… 視察見学会

機関誌…………… 機関誌発行

講習…………… 緑化技術講習会

ブロック…………… ブロック会議

かながわトラスト… (公財)かながわトラスTomidori財団湘南地区推進協議会



## 緑化技術講習会

Greening technology course

平成29年度緑化技術講習会を以下のとおり開催しました。

日時:平成29年8月31日(木) 14時00分～16時00分

場所:長久保公園都市緑化植物園 みどりの相談所 2階研修室

参加数:10名

講習名:玄関の前や敷地内を彩る草花の寄せ植え講座

内容:一般的なプランターで寄せ植えの方法と管理の仕方を学ぶ

講師:長久保公園都市緑化植物園 みどりの相談員 坂本 立弥 先生

講習会当日は、前日までの猛暑とはうってかわり、天候は曇り 気温25℃であり、また、建物の中での講習であったことから比較的快適に講習を受講することが出来ました。

講習会は前半を講師 坂本先生による座学、後半は参加者による寄せ植えの実技を行ないました。

座学では、「園芸とは何か?」、「園芸の品種」、「種や苗の入手方法」、「種をまく時の注意点とポイント」等 テーマである「宿根草の寄せ植え」に関する様々な知識を学ぶことが出来ました。特に、種まきの時期が年2回あることに非常に興味が沸きました。それ以外も私にとっては初めて聴くことばかりで、園芸の世界の奥深さを感じました。

実技では、ハーブや黄花コスモス等 数種類の草花を鉢に植える作業を行いました。坂本先生に教えてもらった鉢植えの仕方を活かせず、また、私の不器用な面とセンスの悪さが強調されキレイな草花たちが見るも無残な姿で鉢に取まってしまいました。この失敗を活かすため、まずは我が家にて再度チャレンジ

を試みようと考えております。

2時間の講習会ではありましたが、参加者のみなさん一人一人が真剣に、また、楽しく学べたことは非常に有意義であったと思います。

最後になりましたが、今回の講習会にあたり藤沢市みどり保全課の方々、長久保公園都市緑化植物園の方々にはご尽力を賜り誠にありがとうございました。本紙面をお借りして御礼申し上げます。

(いすゞライネックス株式会社藤沢事業所 佐藤 記)



## グリーンコネクション

Green connection

平成29年11月25日(土) 伊勢原市立中央公民館展示ホールにて湘南グリーンコネクション2017が開催されました。

講演内容は「ピーターラビット™の生みの親:ビアトリクス・ポター™と英国ナショナル・トラストについて」(講師:河野芳英氏)で、自然を守ることに半生を捧げたポターについて、彼女が描いた作品『ピーターラビットのおはなし』とともに彼女の生涯をご説明

いただきました。彼女が守ろうとしたイギリス北部の自然豊かな湖水地方は、英国ナショナル・トラストにより100年以上保全され続け、2017年7月に世界遺産に登録されました。講義には湘南地域の緑に関心が深い多くの方々に参加され、興味深い内容とユーモアある講師の説明に耳を傾けおり、自然の保全に関する意識を高める意味でも有意義な講演でありました。

(事務局 記)



## 視察研修会

Inspection excursion

平成29年度の視察見学会を、当協議会会員企業7社9名と事務局4名が参加して開催しました。

日時：平成29年11月9日(木)

場所：神奈川県立花と緑のふれあいセンター“花菜ガーデン”(平塚市寺田縄496-1)

内容：季節の植物を体感し、事業所の玄関等を彩る植栽の参考にする

2週間続けての台風から季節は一気に秋です。朝晩の冷え込みが肌を刺しますが、当日はとても気持ちの良い快晴でした。

藤沢駅南口に集合して“花菜ガーデン”に向けて約1時間のバス移動です。バスは毎年お世話になっております。自動車様から、今回はミドリムシからつくった燃料DeuSEL<sup>®</sup>を使用したシャトルバスを御用立ていただきました。エコ・快適・安全な視察見学会になりました事、心より御礼申し上げます。

神奈川県立花と緑のふれあいセンター“花菜ガーデン”は2010年3月1日にオープンした園芸や農業を楽しみながら学べる施設です。“花菜ガーデン”は一般に公募して付けられた名称だそうです。車でのアクセスなら小田原厚木道路の平塚ICが近いです。公共交通機関ならJR平塚駅北口からバスで約20分。小田急線秦野駅北口からバスで約25分の位置にあります。

“花菜ガーデン”に到着後に、まずは施設や見どころの説明を施設の方から丁寧にして頂きました。横浜スタジアムの約3.5倍の広大な敷地(約9.2ヘクタール)を有していて、「フラワーゾーン」「アグリゾーン」「めぐみの研究棟」の3つのゾーンに分かれています。

- フラワーゾーンは、異なるテーマを設け、季節ごとに咲き誇る花木や草花を植栽して、一年を通して楽しめるゾーンです。主なものに、ハナモモやユリ、リコリスが華やかに咲く“春告げの小道”、バラの歴史園である“薔薇の轍(わだち)”、ムクゲやアジサイの“槿花(きんか)の小径(しょうけい)”、サザンカ、バラ、クレマチスの“風ぐるま迷宮(めいず)”、サルズベリとヘメロカリスの“枝百景(えだひゃっけい)の丘”などがあります。みはらしデッキは「関東の富士見百景」に選ばれたビューポイントです。
- アグリゾーンは、野菜の植え付けや田植え、野菜の収穫や稲刈りなどの体験ができるゾーンです。主なものに、ナシやウメや柑橘類の生育ぶりが観察できる“フルーツフルファーム”、小スペースで楽しむモデル菜園の“花菜ガルテン”、野菜の植え付けや収穫体験の場となる“触れん土ファーム”、田植えや稲刈りの体験ができる“田んぼたんぼ”、子どもの目線で作られた小さな農園“キッズファーム”などがあります。
- めぐみの研究棟は、農業や食の大切さを学べる体験ルームや、展示室、ライブラリーを備えたゾーンです。つどいの棟、ひらきの棟、みのりの棟の3つの建物からなります。



説明を受けた後に、園内の見学の開始です。広大な敷地の花木や草花をゆっくり見て回り、カメラに収めていたら、あっと言う間に集合時間です。会員企業様の玄関等を彩る植栽の参考になったと思います。一年中違う楽しみができる“花菜ガーデン”ですので、違う季節に来ようと思いながら帰路に着きました。最後になりましたが、今回の見学会にあたり事務局の方々にはご尽力していただき、紙面をお借りして御礼申し上げます。

(NOK株式会社藤沢事業場 伊勢田 記)

## ブロック会議

Block conference

平成29年度のブロック会議は、平成29年12月14日(木)湘南NDビル6階6-1会議室で開催しました。議事は本年度の事業経過報告、予算執行状況、事業に対する意見交換等についてで、出席した会員が3ブロックに分かれて、今年度実施した事業に対して意見交換を行いました。その後、各ブロックの代表者が意見交換内容を発表し、次年度の各事業に反映することとしました。最後に、平成30年1月4日から供用開始する市役所新庁舎概要についてDVDを視聴しました。

(株式会社ヤクルト本社湘南化粧品工場 大林 記)



# グリーンキャンペーン

平成29年9月30日(土)



第36回藤沢市緑と花いっぱい推進の集いの開催を記念し、藤沢駅北口ペDESTリアンデッキ及びサンパレットにてグリーンキャンペーンを行いました。

当日は、ドナルド・マクドナルド、海の女王の2名、海の王子の1名、及びふじキュンを迎え、藤沢市緑と花いっぱい推進の集い運営委員会実行委員を中心とした各団体からの参加者が、往来する人達に緑化推進PRチラシ2,000枚と花の苗2,000株などを配布し、藤沢市みどり基金の募金活動を行いました。

また、アトラクションとして

「鶴沼正栄会」様による

笛太鼓の演奏も行われました。



(藤沢市緑と花いっぱい推進の集い運営委員会事務局 記)

Greening Campaign

## 推進の集い

平成29年10月28日(土)

緑の重要性を改めて見直すとともに、藤沢の緑を守り育て、市民による「緑と花いっぱい運動」をさらに推進していくために開催している推進の集いも今回で36回目を迎え、約900名の来場者でにぎわう中、藤沢市民会館大ホールにて開催しました。

主催者、実行委員長、来賓あいさつの後、平成29年度「緑と花のまちづくり」の各表彰(緑と花いっぱい功労者・ポスターコンクール入賞者・学校花だんコンクール入賞者等)が行われました。

表彰式終了後のアトラクションでは、藤沢市立藤ヶ岡中学校吹奏楽部による演奏で大変な盛り上がりとなりました。

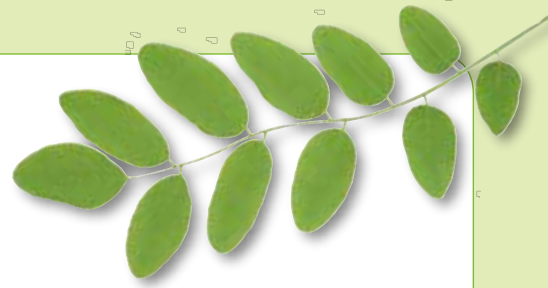
最後にお楽しみ抽選会が行われ、ここでは藤沢市企業等環境緑化推進協議会から寄付された景品を中心に、抽選により来場された方々へ景品をお渡しし、本式典を盛会裡に終了いたしました。

今回も皆様より数多くの景品・賞品の寄付をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

(藤沢市緑と花いっぱい推進の集い運営委員会事務局 記)



# Member Introduction



## 株式会社 須藤製作所

- 事業所名 株式会社 須藤製作所
- 所在地 藤沢市川名2丁目3-25
- 代表者 代表取締役 須藤 修司
- 事業内容 精密金属プレス部品製造

株式会社 須藤製作所は1954年(昭和29年)に設立された、精密金属プレス部品製造会社です。部品メーカーとしてベアリング用の金属精密プレス部品を、金型設計・製作から部品完成まで一貫して製造しています。会社設立以来の製造ノウハウを生かし、高精度な製品を作り続けています。

現在の代表取締役は1961年の就任以来57年の技術と管理、両面のリーダーとして会社の成長に寄与してきました。1965年(昭和40年)には完全自動化のトランスファープレスを新設、合理化の第一歩としました。また、ボールベアリング用シールド板に関する特許(転がり軸受密封装置)の取得など、継続的技術の向上を日々図っております。現在、本社藤沢工場の外、福島工場、栃木工場、インドネシア工場で製造を行っております。

製造以外では、弊社は早くからISO14001(環境マネジメントシステム)の認証を受け、環境保全と改善及び工場の緑化に力を入れております。工場内のヒマラヤスギは、以前に藤沢市から写真を撮りに来られたようです。また、桜の木は、1971年に会社の記念日に植樹されました。そして交通量の多い道路沿いには榎木、交通量の少ない裏手の垣根はイヌツゲを植え緑化に努めております。これらの樹木以外にも工場内には、山桃、木瓜(ぼけ)、柿、千両、葡萄、椿などが植わっており、四季折々、鑑賞と実益(食べられる)を兼ねて従業員一同楽しんでおります。

今後、弊社のモットーである「誠意」を基本に、製品作りと同様、緑化などを通し、地域貢献に励みたいと考えております。また、藤沢市企業等環境緑化推進協議会で学んだことを持ち帰り、さらなる緑化推進の重要性を、従業員一同に積極的に広めたいと思います。



## 池上通信機株式会社 システムセンター

- 事業所名 池上通信機株式会社 システムセンター
- 所在地 神奈川県藤沢市小塚400
- 代表者 代表取締役社長 清森 洋祐
- 事業所長名 執行役員 システムセンター長 小島 睦
- 事業内容 放送向け映像機器、システムの製造

私ども池上通信機株式会社は放送用カメラや映像編集、伝送システム、テレビ中継車などを開発・製造しており、一昨年に創立70周年を迎えました。

当社の製品は身近なところでは皆さまが普段ご覧になる報道・ドラマをはじめとした様々なテレビ番組で使用されているほか、有事の際に正確な状況を迅速に伝えることができるヘリコプターテレビ映像伝送システムなど、報道のみならず防犯・防災・災害支援に係わる多くの現場にて役立てられております。

今後も4K放送や8K放送の整備をはじめ、目前には東京オリンピックの開催が控えている事もあり、放送通信事業に携わる企業としてみなさまの安心・安全な生活づくりに貢献できるよう努力しております。

さて、皆様は藤沢メダカをご存知でしょうか。

身近な淡水魚であったメダカは減少を続け、環境省が発表したレッドデータブックに絶滅危惧種として指定されるに至っております。

藤沢市内でも自然水域においては絶滅したとされてきましたが、近年生息が確認されたことにより保全活動が行われております。

湘南システムセンターでは地域交流を通して2000年にメダカの保全活動を開始いたしました。開始にあたり敷地内の人工池を改良しメダカが住みやすい環境を整え、近隣小学校の生徒さんに1000匹のメダカを放流していただきました。順調に数は増え海外の研修生の方々が見学いらっしやるなど国際的な交流も生まれております。

今後も活動を継続し藤沢市域のみどり保全活動、環境整備に取り組んでまいります。



## 公園紹介

# 裏門公園



人々の暮らしが日々営まれる住宅地の中にひとときわ静かな空間、裏門公園があります。公園と言っても人の立ち入りが制限され、普段は外から覗き込むことしかできません。

すり鉢のような地形の底には池があり、ヨシやヒメガマなどの水辺の植物が生育しています。池の周りの平地にはハンノキやヤナギ類など水辺の樹木が藪や木立ちを作っています。すり鉢の斜面は、南側を除いて様々な樹木が茂る森となっています。洪水防止の遊水地として整備された裏門公園ですが、森に囲まれた水辺の環境が野鳥の楽園となりました。池の水面に

はコガモなどの水鳥が集まり、コサギ、アオサギなどが水際で餌を探しています。ヨシ原や藪、樹林にもカワセミやオナガをはじめ様々な野鳥の姿が見られます。オオタカの狩場にもなっています。

危険防止のため日常的な人の立ち入りはできませんが、管理のための草刈りや伐採・剪定の作業を行います。そうしないと、池の水面は草に覆われて水鳥が使えなくなり、藪や樹木が茂りすぎて観察窓から何も見えなくなるからです。

大雨の時に流れ込む土砂が溜まった場所を掘り込んで、水辺を復活させることも試みました。こうして環境を整え、これからも野鳥の楽園として、それを見守る人間も楽しめる裏門公園であってほしいものです。

藤沢市自然生態専門員 原田敦子



## 編集後記

昨年は、アメリカ合衆国のCOP21(パリ協定)脱退に代表されるとおり、国内外で地球温暖化対策の気運が高まった年ではなかったでしょうか。

COP21を少し調べてみると、2005年に発行された京都議定書に代わる、2020年以降の温室効果ガス排出削減等の国際的枠組みだそうです。

二酸化炭素に代表される温室効果ガスの排出を減らすためには、エネルギー使用量を減らす事も重要ですが、出されてしまった二酸化炭素を森林等で吸収することも大切です。

当協議会の活動が微力でも地球の環境を守り、次の世代へ引き継いでいく活動でありたいと思います。

(オイレス工業株式会社藤沢事業場 泉谷 記)